

能登半島地震 被災地支援

南三陸観洋
商品ブース

南三陸町の南三陸ホテル観洋は、能登半島地震の被災地支援の一環として、土産コーナーに石川県などで生産された商品のブースを設けている。売り上げに貢献するほか、宿

泊客らが被災地に心を寄せている。

東日本大震災の際、気仙沼・本吉地方の事業所が商品の販売先確保に苦心した経験を踏まえ、「北陸みやげを

買って応援！」ブースを設けた。商品は、クッキーやチョコレト菓子、名物の豆せんべい、サイダーのほか、ウイスキーをはじめとする酒類など十数点。日本酒では石川の「天狗の舞」と、地元

の「南三陸海物語」の

セットも加えた。同ホテルは「震災時に受けた支援はうれしくて力になった。能登に心を寄せるきっかけをつくることができれば」と話している。

同ホテルではこのほか、25、26の両日に町内で開かれる「全国被災地語り部シンポジウムin東北」に、震災ボランティアで町を訪れた石川県の住民らを招待し、今後の伝承活動や関係者とのネット

ワークづくりなどに生かしてもらっている。



土産コーナーで石川県などの商品を販売している